



ドクターのお仕事体験 心臓カテーテル治療に挑戦中！（文化祭より）

Topics

- 診療科紹介 消化器内科
- サポート高松トリアスロン 医療救護活動
- みんなの病院文化祭2023を開催しました
- 第12回高松市立病院学会を開催しました
- 地域医療・患者支援センターからのご案内
・第79回地域医療連携セミナーのご案内

診療科紹介 消化器内科

診療内容

消化管(食道、胃、十二指腸、小腸、大腸)および肝・胆・膵(肝臓、胆道、膵臓)の疾患が主な診療対象です。各種診療ガイドラインに沿った医療を提供させていただくとともに、個々のご希望やご病状に応じて最善の選択ができるよう努めています。最新の内視鏡検査・治療や、消化器癌の化学療法や放射線治療、緩和内視鏡治療も積極的に行っています。

スタッフ

常勤医師4名（非常勤医師など合計8名）、内視鏡技師4名、ERスタッフを中心にチーム医療を実践し、各認定取得に向けた教育体制も充実しています。



特色・強み

当科では、消化器病におけるコモディージーズから稀少疾患まで幅広い領域で対応させていただいています。地域の医療機関からの消化器急性疾患のご依頼は、消化器ホットラインを通じ迅速な対応を行っており、開設後5年を経過し多くの施設の先生方よりご紹介をいただいています。がんの中でも罹患数の多い、胃がん、大腸がんの早期診断、早期治療に力を注いでいます。また進行・再発癌に対しては、徳島大学大学院医歯薬学研究部寄附講座の腫瘍内科医の協力を受けて最新のエビデンスに基づいた化学療法を行っています。さらに消化管・胆道ステントや薬物療法などによる緩和医療など、ご高齢の方も含めまして癌患者さんをトータルに診療しています。消化器内視鏡に関しては、保険診療における内視鏡時の苦痛軽減のため、鎮静剤・鎮痛剤を希望や状態に応じて使用していますので、安楽に検査をお受けいただけます。

内視鏡センターにおけるコロナ感染対策について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は令和5年5月8日に感染症法における「5類感染症」に変更となりました。しかし、医療現場においては、様々なリスクをお持ちの患者さんが多くいらっしゃることも、引き続きしっかりとした感染対策が求められており、特に、エアロゾルを発生する消化器内視鏡診療においてはより確実な感染対策を講じる必要があります。当センターでは日本消化器内視鏡学会・日本人間ドック学会からの指針・ガイドラインを遵守し、引き続き、感染対策に留意して参ります。

各学会認定（非常勤医師等を含む）

日本消化器病学会認定施設
 日本肝臓学会認定施設
 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

日本内科学会総合内科専門医 5名
 日本内科学会認定内科医 3名
 日本内科学会内科専門医 1名
 日本消化器病学会専門医 8名
 日本消化器内視鏡学会専門医 8名
 日本肝臓学会専門医 4名
 日本ヘリコバクター学会認定医 3名
 日本がん治療学会認定医 3名
 日本病態栄養学会専門医 1名
 日本静脈経腸栄養学会認定医 1名
 日本超音波学会 超音波専門医 1名
 日本消化管学会胃腸科専門医 2名
 日本臨床腫瘍学会専門医 2名
 日本カプセル内視鏡学会認定医 1名
 日本消化器がん検診学会総合認定医1名

診療実績

	2020年度	2021年度	2022年度
外来患者数	6,658	6,773	6,903
入院患者数	7,084	6,865	8,658
一日当たり入院患者数	19.4	18.8	23.7
初診患者数	996	1165	1172
初診紹介数	616	724	712
紹介率(%)	77	83	88
逆紹介数	951	980	908
逆紹介率(%)	125	116	113
上部消化管内視鏡			
一般	1,322	1,247	1,259
ドック、胃がん検診	1,147	1,352	1,425
EUS-FNA	10	5	10
胃瘻造設	42	45	37
上部消化管ESD	22	18	15
大腸内視鏡			
大腸EMR・ポリペクトミー	203	235	268
大腸ESD	12	5	8
ERCP関連手技	120	145	133
合計(その他含む)	3,921	4,026	4,036



外来担当表

外来担当表	月	火	水	木	金
午前 受付・診療/ 8時～11時	平尾 章博	田中 育太	佐藤 康史	平尾 章博	田中 育太
午後 受付・診療/ 13時～15時	北村 晋志	内藤 裕士	佐藤 康史	六車 直樹	内藤 裕士

サンポート高松トライアスロン 医療救護活動



2023年9月3日、「サンポート高松トライアスロン2023」が開催されました。

当院の医師、看護師、臨床工学士が医療救護担当として参加し、熱中症、転倒による負傷、クラゲに刺された方たちなどの処置に当たるため、救護テントで待機していました。幸い大きな事故もなく、無事大会を終えることができました。

これからも、当院は医療を通じて地域を支えてまいります。



みんなの病院文化祭2023を開催しました

10月28日(土)に、『みんなの病院文化祭2023』を開催しました。

4年ぶりの開催となりましたが、当日は好天にも恵まれ、子どもから高齢者まで300名を超える多くの方にご来院いただきました。

エントランスやみんなのホールでのステージイベントはもちろん、休憩スペースで開催したドクターのお仕事体験コーナーでは、参加者と医師・看護師などが、活気と一体感のある時間を過ごすことができました。



第12回高松市立病院学会を開催しました

高松市立病院学会は、高松市立病院（高松市立みんなの病院、塩江分院）間の交流や病院内各部門間の理解を深めることを目的に平成24年から年1回開催しております。医療の向上を目指すためには、診断や治療に貢献する研究、検査技術の維持・向上、教育などに対する積極的な取り組みが重要です。今年10月14日（土）にみんなのホールにて第12回高松市立病院学会を開催いたしました。

今年の一般演題は9演題が発表されました。医療局、看護局、臨床工学科、検査技術科、放射線技術科、リハビリテーション技術科からの発表で、どの発表も興味を惹かれる素晴らしい演題でした。本年の最優秀演題に選ばれたのは、外科 宮崎克己 医師が発表した「当院で経験した絞扼性腸閉塞から考える外科医にできる予防策」でした。

特別講演は、八戸市立市民病院事業管理者 今明秀 先生による「劇的救命」でした。多くの「劇

的』症例を供覧いただき、示唆に富む素晴らしい講演でした。

お忙しい中、高松市議会議員の皆様方、みんなの病院にて実習中の学校の学生さんにもご参加いただきありがとうございました。

学会の準備に多大なご尽力を賜りました関係者の皆様方に心からお礼と感謝を申し上げます。来年度も実りある市立病院学会を目指して開催する予定です。



地域医療・患者支援センターからのご案内

第79回地域医療連携セミナー

大腿骨近位部骨折の治療と予防

整形外科 医長 吉田 雄介

演 題

パーキンソン病について

脳神経内科 医長 浦井 由光

日 時

令和5年12月20日（水）

19時～1時間半程度


お申込みはこちらから→



**FAX予約を
お願いします**



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

受付時間	平日（月～金） 8時30分～18時00分
	土曜日 9時30分～13時00分 ※土曜日はFAX予約受付のみ
電 話	(087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)
F A X	(087)813-6799(直通) 0120-834-224(フリーダイヤル ) ※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。